

市民自治

- 市民の力を活かすしくみづくり
(自治基本条例制定、市民活動支援センターの開設など)
- 市民にひらかれた市議会づくり
(議会報告会の実施、議会基本条例の制定など)
- 都市計画道路に関する住民投票の実施(条例賛成・成立要件反対)

まちづくり

- 開発問題への取り組み
(市民等提案型まちづくり条例制定、住環境を守るための請願・要望書)
- 公共交通のない地域への移動手段拡充(コミュニティ・タクシーの市内全域での実施提案)



子どもの育ち



- スクール・ソーシャル・ワーカーの拡充
- 保育の空白地域をなくす
(認可保育園の新設・一時預かり保育・保育ママの拡充など)
- 子どもの身のまわりから化学物質を減らす(保育園や小学校での石けん利用など)

高齢者支援

- 高齢者支援のネットワーク化
(基幹型地域包括支援センターの新設)
- 医療と介護の連携の推進



環境

- 食物資源循環モデル事業の実施
(生ごみ資源化)
- 緑の保護と緑化の推進(特別緑地保全地区制度を使った樹林購入など)
- 地域エネルギービジョンの推進
(省エネ施策、環境学習など)



食の安全

- 給食の質の維持(民営化した小学校への給食運営委員会の設置)
- 小学校の給食用食器をアルマイトから磁器食器に順次改善
- 給食での地場産農産物の利用促進

市民とともに

小平・生活者ネットワークが実現したこと



若者支援・男女平等

- 若者の自立支援への取り組み
(ひきこもり支援連絡窓口の設置)
- 男女共同参画推進講座の実施
(DV防止・女性の再就職)
- ひとり親家庭への支援
(みなし寡婦控除の提案など)

まちの活性化

- 都市農業の保全(体験農園の拡充)
- 仲町公民館・図書館の有効活用
(ラウンジのカフェ化など)

障がい者支援

- 障がい者雇用の場の拡大
- 精神保健事業の提案
(精神疾患に関する教員研修の実施など)

防災

- 地域防災計画の見直し
(防災・避難への女性や子どもの視点の位置付けなど)
- ブロック塀の生垣化や撤去
(市内小学校など)

脱原発・放射能から子どもを守る

- 原発事故後の放射能対策の実施
(保育園、小・中学校での空間放射線測定、給食食材の放射能測定など)
- 再生可能エネルギーの導入
(太陽光パネルの公共施設への設置拡大など)



生活者ネットワークのその他の活動

- ◆原発都民投票への取り組み
- ◆脱原発に向けての取り組み
(エネルギーシフトや原発コストの学習会、脱原発運動)
- ◆市内公園の放射能測定、電磁波測定
- ◆平和への取り組み
(特定秘密保護法、集団的自衛権の学習会や抗議活動)
- ◆介護と医療の学習会
- ◆民主主義を底上げ！市民政治連続講座(全5回)

広報活動

- ◆生活者ネットワークは議会のたびごとに活動報告『PRE*こだいら』、議会報告『生活者ネット議会レポート』の2種類のニュースを発行しています。
- ◆駅前などで議会報告をしています。
- ◆テーマを決めて市民との対話の場、「議員といっしょに話す会」を年4回開催しています。



民主主義の実現のため、政治をお任せにしない —3期12年で新しい市民を議会へ！

2003年に初代の小平・生活者ネットワーク市議会議員・石川のりから交代してからあっという間に12年が経ちました。普通の市民が政治に関わることの大切さを実感しながら、市民目線での提案を地道に続けてきました。この間、議会の中だけではなく地域の市民活動とも連携しながら生活者ネットワークへの信頼を築いてきたものと自負しています。

生活者ネットワークは、議員を職業化、特権化しないため3期で交代するというローテーションのルールを設けています。わたしは、間もなく12年の任期を終え、次の選挙で新人のさとう悦子さんにバトンタッチします。多選による弊害は「お任せ政治」になってしまうことです。生活者ネットワークは次々と新しい議員を送り出すことで議会への市民参加をすすめて、市民政治を実現します。さとう悦子の挑戦を応援してください。



小平・生活者ネットワーク
小平市議会議員
岩本 ひろ子